

実施計画事業名		広域観光振興事業			評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 観光交流課			課長(主幹)名	斉藤 正良			
総合計画体系	分野	5	産業振興						
	政策	4	地域資源の再発見・世界への発信						
	施策	1	観光を核とした産業振興を図ります						
	関連施策								
現状と課題	道路等の整備が進んだこともあり、広域観光のニーズが高まっているが、これに対応した広域的な観光ルートの整備や旅行者にとって快適で楽しみながら移動できる施策を推進し、旅行者の満足度を高めていく必要がある。稚内は、日本海オロロンラインとオホーツクラインの2つの観光ルートの結節点であり、過去には共同でルート形成に取り組んだことがあるが、今一度ルートの価値を見直す必要がある。								
目的	広域観光ルートの充実を図り、観光客受入体制の強化、入込みの増大を図る。								
施策展開の	①北北海道の各市町村との協議会活動への参加と広域観光ルートの形成 ②宗谷圏での共同事業の展開 ③観光情報の共有化の促進								
成果指標	名称		単位			22年度	23年度	25年度	
	観光客入込数		人		目標	647,000	653,000	665,000	
	説明	本市を訪れた観光客の入込数(延べ)			実績	501,200	465,600		
活動指標	名称		単位			22年度	23年度	25年度	
	他の市町村との連携により取り組んだ事業の数		事業		目標	4	4	4	
		説明	広域観光アドバイザー事業で実施した事業の数			実績	8	3	
	広域観光振興のための組織形成数		団体		目標	4	5	6	
		説明	他の市町村と広域観光振興のために組織する協議会等の数			実績	4	4	
					目標	-	-	-	
		説明				実績			
					目標	-	-	-	
	説明				実績				
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)		千円	6,421	12,243	6,778	平成23年度事業費増加の要因は、利尻礼文サロベツ観光振興協議会負担金の増額(事業増)		
	国庫支出金		千円	0	0	0			
	道支出金		千円	0	0	0			
	起債		千円	0	0	0			
	その他		千円	0	1,860	0			
	一般財源		千円	6,421	10,383	6,778			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.53	0.57	0.57			
人件費(B)		千円	3,599	3,964	3,964				
計(A+B)		千円	10,020	16,207	10,742				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p><b>b</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p>&lt;cの場合は、なぜかを分析して記入する&gt;                  東日本大震災の影響により、4~6月まで対前年を大きく下回ったのが最大の要因。8月からは対前年程度に持ち直した。                  日本海ルートについては一定の成果が見込めるが、オホーツク海ルートは、さらなる開拓が必要である。</p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p><b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p>&lt;bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する&gt;                  今後の方向性として、より効率的な周遊観光を満喫できるために、使い勝手の良い二次交通の再構築を検討して行く必要がある。</p>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<p><b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p>&lt;bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する&gt;</p>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<p><b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p>&lt;bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する&gt;</p>
総 合 評 価	<p><b>A</b> 概ね問題なし</p> <p>&lt;A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する&gt;                  稚内市長を団長とし、香港・台湾観光プロモーションを北宗谷の町長と実施した。                  今後も観光振興の広域連携に取り組んでいく。                  宗谷定住自立圏としての広域連携を強化を図っていく必要がある。その場合、利尻礼文サロベツ圏域と南宗谷(オホーツク)とは区分した中での広域連携を構築して行く必要がある。</p>

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<p><b>A</b> 概ね問題なし</p> <p>&lt;2次評価者の視点からコメントを記入する&gt;                  1次評価のとおりとする。</p>						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--